

エピソード

雨上がりの園庭でぬかるみを見つけ、足で踏みつけている子どもたちがいました。そこに A 児がやってきて、他の子どもと同じように足で地面を踏みます。繰り返し踏んでいると、どんどん靴に泥がつき、足も重たくなるのか、A 児は立ったまま不思議そうに靴を見ました。再び地面を踏み始めた A 児は、ケラケラと笑います。「ぬるぬるだね」「靴が地面にくっつくね」と保育者が状況を言葉にすると、面白そうに「へへへ」と笑って保育者を見ました。しばらく地面を踏んだ後、A 児はぬかるみと乾いた地面の境目あたりにしゃがみ、じっと地面を見つめ…。1分ほどして A 児はすっと立ち上がり、「あめ?(雨)」と呟きました。そうしてぬかるみには満足した様子で、違う場へと向かっていきました。

保育者の思い

ぬかるみを繰り返し踏み、泥の感触や踏みつける感覚、泥に跡がつく様子…等を楽しみ思いに楽しむ姿がありました。A 児が、不思議に、また面白いと感じているであろうことを具体的な言葉にしたことで、保育者と思いを共有できてうれしくなり、それが保育者と笑い合う姿に表れたと思います。また、ぬかるみを見つめ始めた時には、様子を見守ることにしました。普段から気になった物事に対して、見たり触ったりしてじっくり考えることが多い A 児だったからです。“あめ”という言葉には驚きましたが、これまで土や泥、水等様々な物に触れてきた経験や園庭に出る前に雨が降っていたこと等から考えた結果なのかなと思います。

子どもの育ちや学び

- ・友達の様子を見て、泥を踏みに行く姿からは、**周りの人や物事への興味の広がり**が感じられます。また、保育者を見たり笑い合ったりする姿は保育者に**安心して思いを表す**ことができているように考えます。
- ・繰り返し泥を踏む姿には、**面白い**と思い、**もっとやってみよう**という気持ちが見られました。(興味・意欲)
- ・泥を踏んだり足の重さを感じたり、そしてじっくり見て考えたりすることに加えて、これまでの経験を思い出したことで、「ぬかるみができたのは雨が降ったから?」と考えたようです。“泥を踏んで楽しい”だけではなく、**“どうしてこうなったのかな?”**と考える姿が出てき始めているのだと思いました。

家庭だったら・・・

★泥は汚れてしまうので抵抗があるかもしれませんが、触ってみるとひんやりしていたりとろとろで気持ち良かったり、いろいろな感触が味わえると思います。子どもたちはどんなことを感じているのだろうという思いで、ぜひ一緒に砂や泥に触って遊んでみてください。

★遊びの中でふと手を止めた時には、見つめている先や遊びの前後に何があったかを考えてみると、子どもの気になっているものが見えてくるかもしれません。それが靴についた泥なのか、“さっき雨が降っていた”という気付きなのか…。

気になったことや気付いたことを受け止め、一緒に考えたり見守ったりしていくことで、これまでの経験と照らし合わせながらいろいろな発見をしていく姿につながると思います。

